防衛大学校

神奈川県横須賀市の東端、県立観音崎公園に接し、東京湾を一望する小原台の地に、防衛大学校はあります。

防大は、将来の幹部自衛官となるべき者を教育訓練する目的で、昭和28年に一般大学の学部に対応する本科（理工系）が設立され、さらに、人文・社会科学専攻課程が昭和49年に増設されました。理工学や人文・社会科学の教育は大学設置基準に準拠して行なわれていますが、他に防衛学の教育、訓練があり、定員（530×4）名の学生は忙しい日々を送ることになります。

また、高度な理論および応用についての知識、研究能力の修得の目的で、大学院修士課程に相当する理工学研究科が昭和37年に開設され、現在では、7系列、1学年あたり定員90名となっています。このなかに、日本で唯一の（？）、オペレーションズ・リサーチという名を冠した系列があります。

この系列は、開設順に、運用分析(昭和37年)、応用確率(昭和41年)、システム工学(昭和42年)、計画管理(昭和44年)の4講座から構成され、各講座1学年あたり2名の学生定員を持っています。学生は学卒後3、4年の自衛隊の実務を経た者が多く、理論を実際的な目で見ること慣れているように感じられます。卒業生は200名近くになりますが、転職した人も含め、自衛隊の内外でOR関係の仕事に従事し活躍しています。

右表に各講座の担当教官、所属教室、研究分野を示します。教官の大半はOR学会の会員です。教官の研究分野に相応して、研究科学生の研究テーマも多岐にわたりORのかんりの分野をカバーしていますが、さらに拡充してゆきたいと思っています。（川島武、岩崎学）

1986年度春季ならびに秋季研究発表会のアブストラクト集の残部が若干ございます。ご希望の方は学会事務局までお申込ください。

1986年度春季アブストラクト集 会員価格4000円

1986年度秋季アブストラクト集 会員価格5000円

研究科講座名

教官名	本科所属教室・官職	研究分野
〈運用分析〉		
岸 尚	応用物理学教室教授	探索理論をはじめとする自衛隊に固有のOR
飯田 耕司	応用物理学教室助教授	探索理論（移動目標物探索、探索オペレーションのマルコフ連鎖モデル）および対潜捜索問題に対する探索理論の応用
〈応用確率〉		
川島 武	数学物理学教室助教授	待ち行列理論
岩崎 学	数学物理学教室講師	数理統計学、特に多変量解析の理論と応用、線形モデルの解析
〈システム工学〉		
佐々木正文	電気工学教室教授	信頼性・保全性工学、システム工学
松井甲子雄	電気工学教室教授	コンピュータネットワークにおけるセキュリティ、画像情報の収集処理・秘匿
柳 繁	電気工学教室講師	各種システムの信頼性評価、後方支援問題
〈計画管理〉		
山田 武夫	社会科学教室助教授	システムの定性的諸性質—グラフ理論によるアプローチ、マルコフモデルの最適構成法とその意味、応用システム分析、数理計画法
生天目 章	応用物理学教室講師	ゲーム理論、意思決定論、システム分析、政策シミュレーション